

K S K Q

エヌピーオー

# NPOちゅうぶ 通信

つうしん

ねん がつごう  
2024年10月号



By. Akie&Ayu

ゆうせいほごほうもんだい 府知事あて要望書を提出
ゆうせいほごほうもんだい きほんごういしよ 優生保護法問題 基本合意書
どうもカンサイ 童夢KANSAIフェスティバルチラシ 11/23
おおさかじょう くるま 大阪 城 車 いすを 4人で担ぎます
なんばバリアフリートイレマップ調査報告
ナビゲーション
ちゅうぶを語る 理事 東谷 太さん

おのうえこうじ うらせいかつし 尾上浩二の裏生活史
しんじん ちゅうけん けんしゅうかいほうこく 新人・中堅ミックス研修会報告
あたらし しょうかい あか すずきくん 新しいメンバー紹介 赤おに 鈴木君
きどみち おへや しんせかい しょうてんがい 木戸通雄の部屋～新世界の商店街
マノスタ うめだがいしゅうつへん 梅田外出編
きょうりよくかいひ 協力会費 カンパ
へんしゅうこうき 編集後記

# ゆうせいほごほうもんだい ぜんめんかいけつむ 優生保護法問題 全面解決に向けて

おおさかふちじ ようほうしょ ていしゅつ  
大阪府知事あてに要望書を提出

おおさかふぎかい ちんじょうしょ ていしゅつ  
大阪府議会あてに陳情書を提出

おおさかきゅうゆうせいほごほうと おおさかしやうがい オーディエフ きゅうゆうせいほごほうひがいのおおさかべんごだん  
三者連名で、大阪府知事あてに全面解決に向けた取り組みを求めた要望書を9月6日提出しました。

(以下要求書の一部抜粋)

大阪府はまず、自らの責任を認め謝罪してください。その上で、全ての被害者の人権回復を図るために、  
まだ名乗り出ることができていない被害者の調査と支援を行ってください。

そして、優生保護法問題の検証、再発防止、優生思想を乗り越え、差別を根絶する取り組みを継続的に  
行ってください。

1. 大阪府の責任を明らかにし、知事名でしっかりと謝罪し、府民に公表してください。

その上で、今後の取り組みについての決意を表明してください。

2 全被害者の人権回復のための広報、調査、周知(個別通知を含む)、相談支援の取り組みを実施してくだ  
さい。

3 第三者から構成される機関により真相究明、再発防止のための検証を実施してください。

4 優生思想、障害者への差別の根絶に向けた施策を実施してください。

さべつこんぜつ きほんごういしよていけつ くに げんこくがわ ていきてき きょうぎ きょうせいふにん  
差別根絶へ基本合意書締結＝国と原告側、定期的に協議―強制不妊



2024-09-30 17:55社会[時事通信社]

きゅうゆうせいほごほうと きょうせいふにんしじゅつ  
旧優生保護法に基づく強制不妊手術などを巡り、  
訴訟の原告側と国は30日、手術を強いられた人  
の被害回復や、差別の根絶に向け取り組む事項を  
まとめた基本合意書を締結した。

げんこくがわ かんけいかくしやうちやう ていきてき きょうぎ ぐたいてき  
原告側と関係各省庁が定期的に協議し、具体的な  
施策を検討する。

きょうせいふにんしじゅつ めぐ ひがいかいふく さべつこんぜつむ きほん  
強制不妊手術などを巡る被害回復と差別根絶に向けた基本  
合意書に調印し、被害者らに謝罪する加藤鮎子こども政策  
担当相(奥中央)ら＝30日午後、東京・霞が関のこども  
家庭庁

きほんごういしよ ぜんこくげんこくだん べんごだん しえんだんたい  
基本合意書は全国原告団と弁護団、支援団体  
「優生保護法問題の全面解決をめざす全国  
連絡会」、加藤鮎子こども政策担当相の4者で  
締結した。

かとうし ちやういんしき すべ こくみん そうご じんかく  
加藤氏は調印式で「全ての国民が相互に人格と  
個性を尊重しながら共生する社会の実現に向けて、政府として全力を尽くす」と述べた。原告団を代表して  
調印した飯塚淳子さん(仮名、70代)は「基本合意が優生思想や障害者への差別のない社会をつくる一歩に  
なる。優生保護法の被害者や障害者の声をたくさん聴いてください」と語った。

# 基本合意書

優生保護法被害全国原告団、優生保護法被害全国弁護団及び優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会（以下「優生連」という。）並びに国（内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画））は、旧優生保護法による被害者の被害回復、優生思想及び障害者に対する偏見差別の根絶等、優生保護法問題の全面的な解決をめざし、次のとおり、基本事項を合意する。

なお、内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画）は、旧優生保護法改正後の母体保護法を所管する立場であり、また、関係府省庁を代表する立場として合意するものである。

## 1 国の責任と謝罪

昭和23年制定の旧優生保護法に基づき、あるいはその存在を背景として、多くの方々が、優生上の見地から不良な子孫の出生を防止するという誤った目的の下、特定の疾病や障害を有すること等を理由に生殖を不能にする手術若しくは放射線の照射（以下「優生手術等」という。）又は人工妊娠中絶を受けることを強いられ、子を生み育てるか否かについて自ら意思決定をする機会を奪われ、これにより耐え難い苦痛と苦難を受けてきた。

特定の疾病や障害を有すること等に係る方々を対象者とする生殖を不能にする手術について定めた旧優生保護法の規定は立法当初から日本国憲法第13条及び第14条第1項に違反するものであり、国は、国家賠償法上の国の損害賠償責任を認めた最高裁令和6年7月3日大法廷判決を真摯に受け止め、日本国憲法に違反する規定を執行し、優生思想に基づく誤った施策を推進し、特定の疾病や障害を有すること等に係る方々を差別し、特定の疾病や障害を有すること等を理由に優生手術等という個人の尊厳を蹂躪するあてはならない人権侵害を行ってきたことについて、悔悟と反省の念を込めて深刻にその責任を認めるとともに、心から深く謝罪する。また、これらの方々が特定の疾病や障害を有すること等を理由に人工妊娠中絶を受けることを強いられたことについても、心から深く謝罪する。

国は、これらの方々に被らせてきた筆舌に尽くしがたい苦痛と苦難を踏まえ、この問題に誠実に対応していく立場にあることを深く自覚し、被害者の被害と名誉、尊厳の回復に全力を尽くすとともに、二度と同じ過ちを繰り返すことのないよう、優生思想及び疾病や障害を有する方々に対する偏見差別を根絶し、全ての個人が疾病や障害の有無によって分け隔てられることなく尊厳が尊重される社会を実現すべく、全府省庁をあげて全力を尽くす。

## 2 「補償法」に基づく全ての被害者に対する補償の実現に向けた施策

国は、優生保護法下における強制不妊手術について考える議員連盟（以下「議連」という。）において検討されている「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する補償金等の支給等に関する法律案〔仮称〕」（以下「補償法」という。）に基づき、全ての優生保護法被害者に対する補償の実現をめざし、下記の各項目に掲げる施策の実施等に全力を尽くす。

### (1) 相談窓口の整備、情報保障

国及び各都道府県における相談窓口を整備し、相談及び申請に際しての合理的配慮及び情報保障を徹底すること。

### (2) 広報及び周知

特定の疾病や障害を有する被害者に対し、適切に情報が行き届くよう、広報、周知の方法を工夫、徹底すること。

### (3) 被害者に対し確実に補償を届けるための施策

個別通知を含め、被害者に対し確実に補償を届けるためのあらゆる施策を検討し、実施すること。

## 3 恒久対策等の実施

国は、違憲とされる国家の行為が約半世紀もの長きにわたって合憲とされてきたという重い事実、優生思想に基づく誤った施策によって、特定の疾病や障害を有する被害者が子を生み育てることについて自ら意思決定する権利を侵害してきたという事実を踏まえ、優生思想及び障害者に対する偏見差別を根絶し、障害の有無にかかわらず子を生み育てることについて自ら意思決定できる社会、全ての個人が疾病や障害の有無によって分け隔てられることなく尊厳が尊重される社会を実現すべく、全力を尽くす。

そのために、下記の各項目に掲げる施策等を実施する。

### (1) 優生保護法被害者の被害の回復に向けた施策

謝罪広告をはじめ、可能な限りの被害者の名誉回復のための措置を検討し、実施すること。

### (2) 真相究明、再発防止のための調査・検証

二度と同じ過ちを繰り返さないため、第三者機関による、徹底的な調査及び検証を実施する。なお、実施主体や構成員として優生保護法被害全国原告団、優生保護法被害全国弁護団、優生連等障害者団体の代表を含むことをはじめ、その具体的な内容については、今後の議連での検討結果を踏まえつつ、最大限調整する。

### (3) 偏見差別の根絶に向けた施策の推進

優生思想及び障害者に対する偏見差別の根絶に向け、法制度の在り方を含め、教育・啓発等の諸施策を検討し、実施すること。

## 4 継続的・定期的な協議の場の設置

上記の各施策等の具体化をはじめ、優生保護法問題の全面的な解決に向けた施策等の検討、実施に当たっては、優生保護法被害全国原告団、優生保護法被害全国弁護団及び優生連と関係府省庁との協議の場を設置し、継続的・定期的な協議を行う。

障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向けた対策推進本部を構成する関係府省庁は、上記協議の結果を踏まえた施策等を実現すべく、全力を尽くす。

令和6年9月30日

優生保護法被害全国原告団  
優生保護法被害全国弁護団  
優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会  
内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍男女共同参画）





11/23(土祝)11:00~16:00

長居公園 自由広場

<地下鉄御堂筋線「長居駅」徒歩5分、JR阪和線「長居駅」徒歩10分>



# おおさかしやうてんしゅかく 大阪城 天守閣へのエレベーターが止まる40日間

## くるま かいだん ほ じょ にん かつ 車いすの階段補助(4人で担ぐ)をやります！

当初は、エレベーター工事中、車いす利用者にはあきらめてもらうしかないと大阪市も考えていました。でも、障害者差別解消法もあり、合理的配慮の観点からなにか方法はないのか、との議論となりました。車いすのまま階段を上下できる昇降機をいろいろ試してみましたが、どれもうまくいかない。あきらめるしかない!?かとなりましたが、駅にエレベーターのない時代は駅員も介護者も担いでいて事故もなかった。「4人集めて担ぎましょう！」という提案が9月に正式決定。大阪城ホームページでも公募され、NPOちゅうぶが受託事業者となりました。

- 11月5日(火)～14日(土)の40日間、9時～17時。予約制ではありません。
- 階段担ぐのは基本、手動車いす。スタッフは学生も含め募集中。研修はしっかりやります。
- 1日の平均利用車いす利用者は5人～6人だそうです。半分は外国人。



観光客は年間255万人で全国のお城で最多。  
秋になり毎日行列。見た感じ多くは外国人、中国、韓国からも多そうですが、欧米からも多そうです。他のお城では未だにエレベーター付ける付けないでもめてます。  
今回の工事は外のエレベーター。天守閣内のエレベーターは動いています。



最初に24段の石段→あとは5段→2段→4段→1段→6段

合計42段。実は地下鉄駅の階段の半分程度。緩やかで幅も広いので担ぎやすい階段です。

天守閣内エレベーターは1931年、  
外側エレベーターは1997年の平成の  
大改修で設置。大阪市の担当者も頑張って  
設置されました！

天守閣の外にある展望デッキは車いすでも  
出れます。360度の眺望が楽しめます。

大阪の人は意外と大阪城、天守閣には行か

ないのですが、せっかくだから皆さん、天守閣に上がってみましょう！

(石田)





大阪城天守閣 車いす 階段補助

# STAFF 募集中

期間 11/5(火)～12/14(土) 40日間

時給 **1500円**

時間 9:00～17:00(応相談)

※交通費支給、昼食代支給

詳しくは



広場から天守閣入り口までのエレベーターが付いたのが1997年。

何度か改修されていますが、今回の工事期間中は車いす利用者等が天守閣に上がりません。

修学旅行に来て、車いすの生徒だけが下で待っている。そんな光景は見たくない！



NPO法人 ちゅうぶ

応募 **06-4703-3740** 担当 石田



# みなみ(なんば)バリアフリートイレマップ調査報告

「道頓堀には車いすトイレがない!？」

2017年、みなみの千日前商店街振興組合の依頼でバリアフリーなトイレマップを作製しました。どこにもまとまった情報はないうので、段差のないビルー軒一軒訪ねて調査しました。びっくりしたことに道頓堀（戎橋近くの繁華街）に10か所以上の車いすで使えるトイレがありました。ところがどこも表示がないか分かりにくいために、歩いていても分からないのです。こんなにたくさんあるなら安心してみなみで飲食できる。なんばおにごっこ参加者などに配りました。

そこから7年経ち、建て替わるビルも増え、エディオン（精華小跡）やスカイオ、パークスサウスなどもできたので再調査しました。せっくなので調査エリアと調査項目を増やしました。これです思ったより時間がかかり少々苦しんでいます。前回とほぼ同じく道頓堀から高島屋までのA4サイズのマップを作製し、なんばおにごっこ参加者に配布しましたが、それと別に110か所の詳細な調査データは問題点と併せて整理中です。

## ●調査エリア

北は宗右衛門町、東は日本橋、南はパークスサウス、西はJ R 難波(O-CAT)で、約110か所。無くなったトイレ、新しく出来たトイレもあり、特に周辺では新しくホテルがたくさん建設され、中にはバリアフリートイレは大体1つは設置されています。

注目すべきはグリコの看板のある戎橋のすぐ横の公衆便所が改修され、来客バリアフリートイレが設置されること。東側の太左衛門橋、相合橋にもあるので連続して3つあるのはとても安心です。（この2つはかなり古くてちょっと狭くて、汚い感じですが・・・）

築年数	エリア A マップ内 B 南側 C J R 難波 D 堺筋	写真掲載	表示分かりやすさ ○ 分かりやすい △ 普通 × 分かりにくい	配置図	触地図	サイズ				ドア				便座の高さ
						ドア	横	縦(奥行)	面積	ドア止まる?	天井からのドアの高さ	天井からの高さ(内側)	開けやすさ	電動・手動

築年数／エリア／写真／場所表示の分かりやすさ／配置図／触地図／サイズ（ドア・縦・横）面積  
ドアいったん止まる?／天井からドアまで高さ（内外）／ドア開けやすさ／電動・手動／便座高さ

背もたれ	ウォシュレット	水洗ボタン	オストメイト	手すり		鏡の高さ (床から)	○～99 △100～109 ×110～	鏡を改善 できる?	ベビー ベッド	ベビー キープ	大人用 ベッド	長さ	フット ボード	荷物用 フック	緊急スイッチ	
				左	右										座面	床

背もたれ／ウォシュレット／水洗ボタンタイプ／オストメイト（お湯）／手すり左右／鏡の高さ（改善可否）／ベビーベッド／ベビーキープ／大人用ベッド（長さ）／フットボード／荷物用フック／緊急呼び出しスイッチ

## ●今回の調査の特徴的な数値

◆ドア ○止まる：77か所、△微妙：8か所、✕止まらない：16か所  
（△+✕=計24か所がちゃんと止まらない）

ドアは一旦止まらないう車いす利用者は単独では出入りできないのです。

◆オストメイト ○ある：67か所

◆鏡の高さ ○27か所 ○33か所 △10か所 ✕22か所

○～85cm（府ガイドライン）、○～99cm、△100～109cm、✕110cm

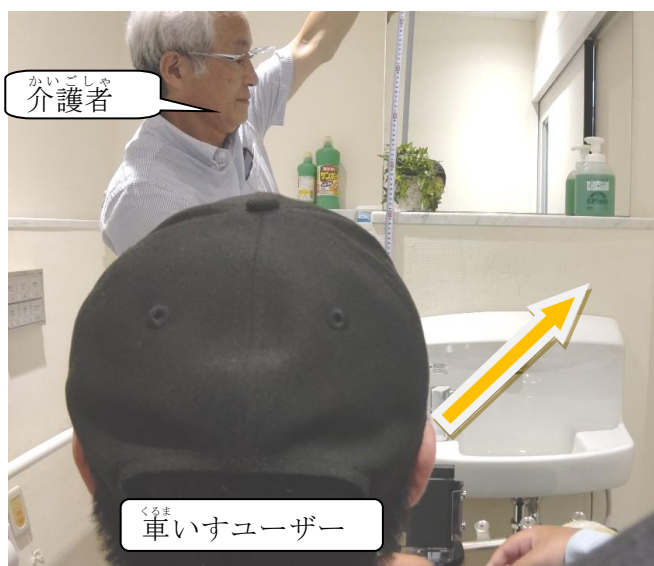


## ◆大人用介護ベッド 計23 か所

160 cm : 1 か所、150 cm : 15 か所、120 cm : 7 か所

### 鏡が見えない(役に立たない)問題

車いす利用者の標準的な目線の高さは110 cm。つまり110 cmより高い位置にある鏡は車いす利用者からは見えないのです。当然、見えない鏡は無いのも同じ。もっと低い人もいるので大阪府のガイドラインでは85 cmからが望ましいとされています。110 か所のうち、なんと22 か所が110 cm以上。しかも多くがここ数年にできたビル。新しいホテルではたくさんバリアフリースイレが複数あるのに全部125 cmでした。まったく使えません。



### 大人用介護ベッドが小さすぎる問題

最近増えてきたベッド。ユニバーサルベッドともいわれていますが、最近増えています。ただ府のガイドラインでは120 cm。これだと小さすぎ。150 cm以上は必要です。また表示がないのでドアを開けてみないと分からないのも困ります。



### ドアがいったん止まらない問題

これは観ただけでは分からない問題。なぜ止まらないといけないのか？ 開けてすぐ閉まると、入ろうとしたら、中に入るまでにドアが閉まって入れないのです。これも新しいビルのトイレに増えている不思議な現象。防煙の関係で天井からドアまで50 cmが必要という条項が関係してるとの指摘があり、調査中ですが50 cmとドアが止まるかどうかは関係なさそうです。調査継続中ですが、実際に両手が不自由な車いす利用者が単独では出入りに困っているはずです。





# MAP凡例

- 映画館・劇場・ホール
- ショッピング・アミューズメント
- ホテル
- 地下街・地上接続エレベータ
- 地下街
- 歩行者専用
- 交通
- バリアフリートイレ
- 店内にあるトイレです。使う時は店員に声をかけてください。
- 大人用ベッド



# みなみバリアフリー トイレMAP



♿ = 誰でも利用可能 ■ = 店内にあるトイレです。(使う時には店員に声をかけてください) 大人用ベッド = 大人用ベッド

♿ = オストメイト対応設備あり ※トイレマップは、スタッフがお店を一軒一軒直接訪問して調べたものです(2024年9月調査)

1 ■ クロスホテル 5F



2 ■ カラオケまねきねこ 店前店 (アパホテルビル 4F)



4 ♿ 公衆便所(相合橋)



5 ♿ 公衆便所(戎橋)



7 ♿ 公衆便所(太座前門前)



8 ■ きんさんビル 2F



10 ♿ GIGO 3F



11 ■ 中盛くいだおれビル 1F



12 ■ 道頓堀今井 2・4F



18 ♿ 御堂閣ビルB1F



19 ♿ ラウンドワン 3F



20 ♿ なんばウォーク西側



21 ♿ 近鉄難波ビルB2F



22 ♿ コメダ珈琲 2F



23 ♿ ビックカメラ 4F



25 ♿ なんばウォーク東側 (ヒラカメラ近く)



27 ♿ ホテルロイヤルクラシック 11F



29 ♿ マルイ 7F



30 ♿ エディオン 8F



33 ♿ がんこ寿司 なんば本店



36 ♿ ダ・オーレ 1F



37 ♿ なんばパークビル 2F



38 ♿ スカイオ 2F



39 ♿ 大阪高島屋 8F



40 ♿ なんばCITY 本館1F



42 ♿ パークサウススクエア 2F



46 ♿ グランド花月 2F



※ ♿ 近鉄大阪難波駅 B1



※ ♿ 御堂筋なんば駅 B1



※ ♿ 南海難波駅 3F





自立生活センター・ナビ  
からのお知らせ

東住吉区地域自立支援協議会

障がい当事者部会を開催しました！

みなさんこんにちは。東住吉区地域自立支援協議会障がい当事者部会(9月17日(火))の報告です。

今回は、障がい者と防災 ～自身の被災体験を通して～と題して防災をテーマに 3人の方を講師にお招きしました。

### 阿部 俊介さん(ゆめ風基金当事者スタッフ)

2019年6月から大阪に移住し、ゆめ風基金事務局で働いておられます。宮城県石巻市出身。東日本大震災で被災されました「被災体験から考える防災対策や日ごろからの備えなどについてご講演いただきました。お話しの中で特に印象的だったことは、「まだまだ復興復旧は進んでいない。」「東日本大震災の時の教訓があるにもかかわらず、ほとんど改善がされていない。」「障がい者の現状は、厳しい状況にある」ということをお聞きし、日頃から障がい者が住みやすい社会にしていく必要がある。そのために当事者が、どんな活動をしていくべきなのか考える必要があると再確認することができました。



### 八幡 隆司さん(ゆめ風基金事務局長)

能登半島地震から学ぶ一今後の災害にどう備えるか？をテーマにお話いただきました。能登半島地震の特徴を一部紹介します。

「能登半島地震の特徴」

- ① 正月元旦に起きた災害
- ② 半島という東西からの入り口がないところでの災害
- ③ 行政とボランティアの連携がない
- ④ 水道が4か月以上も復旧しない事態
- ⑤ 福祉施設の大半の職員が被災
- ⑥ 過去の災害に比べて遅い復興

地震に対して、こんなもんかと慣れてはいけないう、BCP(事業継続計画)をしてシュミレーションをすることが大事と話されていました。





はま べ たかゆき しゃかい ふく し ほうじん おおさかし ひがしすみよし しゃかい ふく し きょう ぎ かい  
濱辺 隆之さん(社会福祉法人大阪市東住吉区社会福祉協議会)

さいがい たいけん やくわり ひさ い ち かつどう  
災害ボランティアセンターの役割や被災地でボランティア活動してこられた  
けいけん さいがい お ひとびと あんしん あんぜん く いっしゆん うしな  
経験や、災害が起きると、人々の「安心・安全な暮らし」が一瞬にして失われ  
てしまう。被災により、様々な「生活の困りごとが同時多発的に発生する。」と  
いう話をさせていただきました。



## ●参加者の感想

じっさい たいけん かた はなし き けいけん  
・実際に体験された方のお話を聞いたのはよい経験になった。なんとかなる  
だろうとは思わず、災害をもっと身近なものと普段から捉えて考える必要が  
あると思った。

ちい き ふく し れんけい さ けんじょうしゃ ひさ い せいかつ しつ さ しょう  
・地域によって福祉連携の差があることがわかった。健常者でも被災することで生活の質が下がるのに障  
がい者への配慮がされていない避難所を提供していることなど考えさせられることが多かった。

## ●まとめ

ねん がつ ひがしにほんだいいしんさい かん さいがい お  
2011年3月に東日本大震災～この間、たくさんの災害が起  
る～そして 2024年1月に能登半島地震。2024年8月8日に  
なんかい じしん りん じじょうほう ほうびょう さいがい お  
南海トラフ地震臨時情報が発表されました。災害が起こってか  
ら対策をはじめては遅いのは、頭では、わかってはいます  
が、なかなか行動に移せないのが現状だと思っています。(もちろ  
ん、日頃から対策をしている方もたくさんいます。)

こうし 講師のみなさん、お話をしていたのは「ネットワークづくりの大切さ」

ひごろ きんじょ ひと あいさつ かんけいだんたい れんけい さいがい お と き たが きょうりよく  
日頃から、近所の人と挨拶をしたり、関係団体と連携していくことで災害が起こった時にお互い協力しあ  
える関係を築けると感じました。

みなさん、ご参加いただきありがとう  
ございました。



## ○ゆめ風基金って？(ゆめ風基金ホームページより抜粋)

ねん ひさ いしやう しゃ きゆうえん もくてき えい ろくすけ こむろ ひとし ちょめいじん しょう しゃ しえんしゃ よ  
1995年、被災障がい者の救援を目的に永 六輔さん、小室 等さんら著名人と 障がい者、支援者が呼  
びかけて発足。これまで被災障がい者救援金・救援活動費は 5億8400万円にのぼります。東日本大震災  
では、いち早く障がい者救援活動を開始、今も障がい者の生きる場・働く場の復興を応援しています。  
いちばんこま とど ぜんこく しょう しゃ だんたい れんけい きんきゆう じ そな  
「一番困っているところにすばやく届ける」ことをモットーに全国の障がい者 団体と連携し、緊急時に備え  
ています。また、障がい者の立場から「防災提言」を発信しています。

## ○東住吉区地域自立支援協議会とは

しょう しゃ ちゅうしん いろ たちば ひと いけん だ あ だれ す ここち ひがしすみよし  
障がい者を中心にして、色んな立場の人が意見を出し合い、誰にとっても住み心地のよい東住吉区にする  
には、どうすればいいかを かんが あんしん し く すす  
考えて安心できる仕組みづくりを進めることが役割。部会は、相談支援部会、  
きょじゅうけいれんらくかい しょう とうじしゃ ばかい こ ばかい にっちゅうかつどうれんらくかい ばかい  
居住系連絡会、障がい当事者部会、子ども部会、日中活動連絡会5つの部会がある。

しゅうねん てんぽう  
ちゅうぶ 40周年を展望して

## これまでのちゅうぶ、これからのちゅうぶを語る

じむきょく りじ  
～事務局・理事のインタビュー 第7弾 東谷 太さん(理事)

堀(編集部):事務局や理事の方に、これまでのちゅうぶを振り返り、ちゅうぶの将来を語っていただくという趣旨です。よろしくお願いします。

東谷さんは、岸和田の自立生活センター・いこらの代表で、2003年からちゅうぶの理事に就任いただいています。

ちゅうぶとの最初の関わりはどんな形だったんでしょうか。

ピア大阪の立ち上げ 当事者スタッフとして

東谷:岸和田市の前に大阪市に長く暮らしていました。僕の障害者問題に関わる出発点はピア大阪(大阪市立の自立生活センター)での就労で、9年間当事者スタッフとして働きました。

その後、自立生活センターあるで活動を行い、今のいこらを立ち上げました。

東谷:ちゅうぶとの関わりは、ピア大阪の立ち上げの頃です。

ピア大阪というのは公設民営の大阪市の公的資金によってつくられた自立生活センター(編者注:大阪市立早川福祉会館に所在)でした。

早川福祉会館の建て替えに当たって、定藤先生・北野先生を中心に「大阪自立生活センター研究会」が提言され、ピア大阪の発足につながりました。その研究会に、ちゅうぶから、尾上浩二さん、石田義典さん、川嶋雅恵さんが参加されていました。

ピア大阪の立ち上げの時(1994年)は、僕と、平下耕三さん(現 自立生活夢宙センター代表)、野谷

靖さん、市の出向職員、他の非常勤の職員などという構成でした。



東谷:ちゅうぶとの最初の出会いは、僕が頸髄損傷になって以来ようやく動き始めた頃で、大阪頸髄損傷連絡会でいろんな自立生活センターを見学するという取り組みがあって、ちゅうぶの見学に参加した時でした。

1992年頃ですね。川嶋さんが駅に迎えに来てくれて、尾上さんが待っていてくれて話をしてくれたのを見ています。

堀:その頃のちゅうぶの印象はいかがでしたか?

言語障害がある人の言葉を奪わないこと

東谷:印象的だったのは、ピア大阪の職員研修のときに、赤おに作業所を見学させてもらった時の風景ですね。

とつつあん(山本敏晶さん)、寺内隆さん、西川和男さんが居て、びっくりしたのは、重度の言語障害がある人の話をみんながちゃんと聞いて、

言葉を待っていたことですね。

みんな、言語障害があるのに当たり前前に発言して  
いて、しっかりと伝えることができていたし、周りの  
みんなは、発言の時間がかかっても、言葉を奪う  
ことなくちゃんと待っていました。

それ以降の僕の活動において、その経験はとても  
大きなものになりました。

## シーアイエル CILナビの立ち上げからの運営委員に

堀：その後、ちゅうぶの理事に就任されたのですね。

東谷：NPOちゅうぶの理事になる前に、自立生活  
センターナビの運営委員をさせていただきました。  
96年に市町村障害者生活支援事業の委託相談  
事業が始まって、最初はピア大阪が担っていたの  
ですが、ナビも受託することになり、そのためには、  
運営委員会を整備しなければならないということで、  
僕が最初の時から運営委員に加わりました。

堀：CILとしてのナビの立ち上げの時からかわ  
ってくださったということなのですね。

東谷：当時は、尾上さん、川嶋さん、南光龍平さん  
がいて、ほどなく、小坪琢平君が入りました。



ピア大阪の作業所連絡会みたいな場に小坪君が  
いて、川嶋さんが小坪君をスカウトしたんです。

僕は、小坪君を応援したくて、小坪君がいる限り  
運営委員をやるよって言ってきました。2010年に  
いこらーを立ち上げるまで、ずっとやりました。  
小坪君も十分に育ってくれたので、運営委員は辞  
めさせてもらいました。

ちゅうぶ 35周年の記念集会の時も、マイクでスピー  
チさせていただきましたが、5分間の間に小坪  
という名前を連呼してしまい、「こつぽっちって言  
いすぎや！」って後で言われました。

## ナビはILPがしっかりできていた

堀：CIL運動は最初はアメリカからもたらされて  
きたのだと思いますが、大阪の場合は、大阪青い  
芝やごりらの運動があって、重度の障害者と寝起  
きを共にする中で、どう生活を作っていくんだみた  
いなことをやってきたと聞きました。自立生活運動  
といっても、大阪なりの手探りがいろいろあったと  
思いますが、当時のナビはどんなことをしていたの  
ですか？

東谷：当時のナビは自立生活センターとして、自立  
支援に取り組んでおられて、集団ILPや個別  
ILPも毎年定期的に実施されていて、しっかりと  
準備をするなど、自立生活プログラムに力を入れ  
て取り組んでおられたという印象があります。  
なので、僕がいこらーを立ち上げてILPをする  
ときに、小坪君にいろいろ教えてもらいました。

## 伝説のピアカン長期講座でみんなの出会い

東谷：振り返ると、あの頃は良かったですね(今ほ  
ど相談業務に追われるということがなかったの)。  
市町村障害者生活支援事業というのは、当時の  
JIL代表の中西庄司さん曰く、自立生活センターの  
ための補助金だったそうですが、要綱にピアカウ  
ンセリングやILPが必須事業として書いているわけ  
なので、公費を使いながら自立生活センターの取  
り組みをすることができたわけですね。



堀:ピアカンは関東に比べて、関西はそんなにできていない印象ですが、当時はどうだったんですか。

東谷:当時は南光さんも川嶋さんもやっておられました。

大阪では当時、後に伝説のピアカン講座と言われた長期講座が開かれて、尾上さん、平下さん、地村貴士さん(現 NPO法人ぱあと代表)が参加されていました。東京から、樋口恵子さんや野上温子さんとかがリーダーとして来られていたと思います。

そこで、平下さんと地村さんとか、皆の出会いがあったんですね。

### 上限問題 自立支援法の問題の闘い

堀:ちゅうぶ理事になられた 2003年頃は、どんな状況だったんですか。

東谷:僕は、ちょうど、ピア大阪の職員をやめて、あるで活動を始め、「自由に俺の運動をできるぞ!」という感じでした。

ちょうど、支援費の上限問題や自立支援法の問題などが勃発して、毎月のように東京行動に行っていました。

堀:厚生労働省前の座り込みとか、デモ・集会とか台風の中でも敢行し、あまりにも長期にわたる大変な行動で、尾上さんも途中で倒れて入院したとか、みんな、替わり交代で体調不良が続出したとか、聞きました。

東谷:頸損なのに、朝から晩まで野外で座り込み活動するとか、地獄のような活動でした。

あの取り組みがなかったら、とっくの昔に障害者も介護保険制度に統合されていたでしょうね。

### ちゅうぶは大阪の運動を牽引してきた

堀:長い間、ナビやちゅうぶに伴走いただいて、ちゅうぶのここはすごいねっていうところなどがあれば教えてください。

東谷:ちゅうぶは、大阪をずっとひっぱってこれた存在だと思います。全身性障害者介護人派遣事業とかの介護制度を勝ち取る取り組みをはじめ、交通アクセスの取り組みもすばらしいと思います。



### 事務局の負担の集中をどう解消するのか

堀:ちゅうぶの課題はいかがでしょうか。

東谷:規模が大きくなってきて、運営の中心にいる人の負担が大きくなっているのが、理事としては心配ですね。等級で言うと4等級(編者注 ちゅうぶは1等級から 4等級までの等級制度があり、人事評価で昇格する)の人たちにすごく業務が集中していると思います。石田さんも今は元気だけど、いつまでもというわけにはいかないでしょうし。

堀:世代交代の課題ということですね。

東谷:ちゅうぶは、ぱっと考えただけで、いい人材がたくさんいる、4~5名はすぐにイメージできます。その人たちにタッチするためには、さらに下の人たちが育たないといけないですね。



堀:情報と権限が事務局や部門長に集中して、なんでもその人に聞いてしまう、頼ってしまうから育たないのか、なぜ、育たないのか…

### 運動の意義をどう全体化していくのか

東谷:世代の限界もあると思います。運動を一から作ってきた昔のちゅうぶを知っていた人と、会社としてできあがった組織に就職した人とは違うと思いますね。

石田さんは一から作った人で、今の4等級の人は、すでにできていたけど、不安定な状況の中やってきた人で、それ以下の世代の人は、昔話として聞いて知識としてはあっても、肌感覚として共有できない人だと思いますね。

アメリカの運動もCILが一つの就職先になってしまって、運動が作りにくくなったというのは聞いたことがあります。

堀:運動的意義とか、これを一緒に創って行こうということをどうやって全体化していくのか、ちゅうぶは組織が大きくなってなかなか難しい面もあると思います。

東谷:それは、大きいところに限らずどこのセンターも悩んでいると思いますよ。

### バトンを継ぐということ

堀:どうバトンを継ぐかが大事ですね。

東谷:バトンを継ぐときに、怖れないことが大事ですね。怖れるとバトンが渡せない。

堀:「俺がやらない」と思っていると、渡せないでしょうね。「まだまだやな」って思いながらも渡して、見守っていくぐらいの余裕があればいいですね。

東谷:いつまでも石田さんががんばらなあかんの、違うと思いますよ。

堀:石田さんの性分もありますね。自分で動くのが

好きなんでしょうね。

東谷:石田さんのバイタリティはすごいですね。

でも、よく言われるけど、「今の時代は、今の時代の人のもの」だから、年配の人は、それをどう若い人に保証してあげるかということも大事ですね。

### 意思一致して地域移行をどう進めるか

堀:運動の意義を全体化することの難しさの問題でいうと、地域移行の課題に影響がありますね。事業の安定的な運営だけを考えるとやってられないですよ。

東谷:施設に戻ってきたときに受け止められるだけの社会資源を自分たちが作り切れるのかという課題が、先日の障天連の地域で生きる権利部会(以降は権利部会)の討論でも出ていましたね。

それは昔も同じ課題があったけど、むしろヘルパー制度ができて賃金が保障されて活動できているので、昔より良くなったのに、なぜ、しんどくなっているんだろうと思います。



堀:見聞きしただけですが、行くところないやろ、俺のところに転がり込んで来るか、みたいな時代がありましたね。

東谷:こんな夜更けにバナナかよの映画にあったように、昔は、制度がなくボランティアを探すのに

電話をかけまくって大変だった時代でしたね。  
学生ボランティア集めのために、ビラ配り、電話かけ、シフト調整、それに比べると良くなったはずなのに…

堀：地域移行を進めようと思いを一つにして、介護者も増やしていくことを、事業所を挙げてしないと。できないですね。

東谷：今年は、もう一度、その原点に立ち返ろうと思っています。

### 地域移行を進める原点

堀：いこら一さんの取り組みを権利部会で聴かせていただきましたが、地域移行の取り組みをするために、自分から自立支援協議会への参加を求めてつながりを作るところから地域移行の取り組みを進めてこられて、とても情熱を感じていますが、その原点はどこにあるのでしょうか。

東谷：施設や精神科病院は泉州のような田舎に集められている実態があります。岸和田には30床を超える施設が5つもあります。虐待事件も起きている。何よりも、一番しんどいのは、岸和田では障害者は施設に入っておけばいいという空気をダイレクトにいろんな場面で感じさせられることです。

堀：地域移行を進めて、地域を変えていかないといけないという切迫感を岸和田におられると感じるのですね。

### 地域移行したい気持ちを育てる事業

東谷：でもなかなか進まない。

「地域移行という制度があるので、ご希望があればどうですか」と聞かれても、地域に戻るというイメージがないから、手が挙がらないのが普通です。岸和田市には、地域移行支援事業の対象となる前の前捌きの独自事業があり、このような「地域移行したい」という気持ちを育てるための事業は、とて

も重要で、すべての市町村にあるべきだと思っています。

施設入所者は、各市町村の移動支援が使えるようにはなっていないのが普通です。しかし、外出して、楽しいこと、地域での生活を見て経験して、初めて、地域に戻りたいという気持ちが芽生えるわけで、施設入所者の外出取り組みを下支えする制度が必要なのわけです。

地域に戻れるってイメージできる取り組みや働きかけが必要です。

### 施設職員さんの理解を深める取り組み

東谷：それから、施設入所者にとって一番身近な施設の職員さんが地域移行を進める立場にたってほしいのですが、施設の職員さんは地域で障害者が暮らすということの知識がまったくないのが現状です。

だから、岸和田市の事業では、施設の職員さんに地域移行の啓発をしています。本人に直接進めることも大事ですが、まず、外堀を埋めることが必要です。



堀：職員さんが地域移行できると思わないと、入所している人が、勝手に出たいと思わないですよ。私は、ほんの数か月でしたが、山口の田舎で、施設に入所して4人部屋で一緒に寝起きして暮らしたことがあります。子どものときから施設暮らしが続いてきた人は、「どうやったら普通の生活がで

きるのかわからない」って言うていましたし、「施設に私がいるのが私の務めだと思う」と信じ込んでいました。障害は私と同じぐらいだったんですが、彼女にとっては、施設の外の世界は何があるかわからない想像がつかない怖い世界だったと思います。施設の職員さん、本人が、地域での生活をイメージできるというのが出発点ですね。

### 地域移行取り組みにグループホーム連絡会を

東谷：施設の職員さんと話をしているんですけど、グループホームが増えてきたせいか、施設入所の希望者が減ってきていて、施設も収益確保が難しくなっているそうです。僕は、とてもいいことだと思っています。

堀：大きな収容施設から、グループホームへ障害者が流れるというのはいい傾向ですね。その次に営利至上主義のグループホームをいかに人間らしくしていくのかということでしょうか。

東谷：岸和田市では、自立支援協議会の地域移行部会の取り組みとして、グループホーム連絡会を作って、質の向上を図ろうとしています。

堀：施設入所の方が、施設を出て、まず、グループホームに入ろうと思ったら、そのグループホーム連絡会で受け止めてもらえるわけですか。

東谷：そこまではいいんですが、空き状況の共有はできています。また、地域移行取り組みの必要性をいつも伝えています。

堀：地域移行を進めようと思ったら、一事業所のがんばりでは難しいですね。グループホームとか介護派遣とかの事業所のネットワークで支えていくということが大事ですね。

東谷：地域移行は、自分のところだけで支えようとせずに、他の事業所を活用してでも、施設から地域に戻ってきてもらうことをかなえようという考え方が大事ですね。利益本位の極端な事例では、高齢者向けサービス付き住宅に障害者も入っている事例がよくありますが、よそのサービスは絶対に使わせないというところもよくあります。

### 障害者が当事者性をもって変えていく主体に

堀：前に、ナビゲーション(自立生活センターナビの機関誌)のインタビューで、東谷さんが、「障害当事者が、しっかりと声をあげて、障害者のことに当事者性をもって変えていかないといけない」と語っておられたのがとても印象的でした。岸和田での自立支援協議会を足場にした地域移行の取り組みはまさにそういう実践ですね。



東谷：障害者が地域に出ること、活動することで地域が変わるということを感じています。当事者が声をあげることが大事です。特に施設の障害者は力を奪われて、無力な状態におかれているので、エンパワメントのサポートが必要なんです。

堀：施設の障害者は何もできないって思い込まれていますから、施設から出ようとする意思決定に至るまでに寄り添うことが必要ですね。



東谷:大きな支援になるのは、施設からの外出取り組みで、自分と同じような重度の障害者が地域で暮らしているのを自の当たり前にして、出会うことだと思えますね。意識が変わると思えます。

### そよ風のように街に出よう

東谷:大阪頸損連絡会で最初にやってきたことは「街に出よう」という取り組みでした。

「そよ風のように街にでよう」というのはいい響きですね。当たり前前に普通に街に出よう、自分のペースで街に出ることで、自分で意識を変えていく、新しい生活を作っていくということができると僕は思っています。

堀:「そよ風のように…」というのは、社会は受け止めてくれるよ、きっと、というメッセージも含んでいたのでしょうか。

東谷:「そよ風」の言葉が出てきた1980年代はまったくバリアだらけだったと思えますね。

社会のバリアを変えていくために、毎年、10月10日には全国一斉アクセス行動があって、大阪頸損連絡会としても参加していました。

### 地域を変えていく取り組み

東谷:今でも、駅の周辺にまだバリカー(車止め、車いすが通れないことがよくある)が残っていたり、駅の無人化が進んでいるとか、バリアフリー課題はたくさんありますね。

泉州地域で特に課題だと思うのは、飲食店のバリアフリーが進んでいないので、お店に入れないということです。選択できるお店の幅が狭いです。

堀:地域を変えていく取り組みとして、泉州地域で「T

RY(トライ)」の活動をされていますよね？

東谷:それは「泉大津TRY」と言ってリアライズさんの取り組みです。

いこうとしては、地域の避難訓練に参加させてもらったりなど、地域を意識した取り組みをしています。

だんじりを車いすで観覧できる取り組みをしたり、今年は、久しぶりに、作業所利用者を中心に車いすで登山をします。

標高850メートルほどの和泉葛城山の山頂を自指して、ボランティアがロープで車椅子をひっぱって上ります。電動車いすだと6人がかりです。

作業所のメンバーが大学を回って、ボランティアを確保しました。

### 運動のパワーの原動力

堀:とてもパワフルですね。何か原動力があるのでしょうか。

東谷:僕の中の成功体験がその原動力になっているのだと思います。

2003年あるでの活動で、当時の地域移行モデル事業でエフォールとか千里みおつくしの杜とかに入所されている方の地域移行取り組みをして、僕が初めて支援して、個別ILPの担当をした方が、地域に戻ることができたんです。





3年がかりの大変な取り組みでしたが、施設から脱出してもらえたという達成感がありました。今も元気で地域で生活しておられて、地域に戻ってこれてよかったというロールモデルになっています。自立できた人と一緒に活動して、そういう人がいることで、地域が変わることを体験できていますので、僕はそれがいつも心の底にあって、地域移行を進めよう、一人でも多くの人を施設から出したい、地域を変えたいという思いがあります。

### ちゅうぶに期待すること

堀:最後にちゅうぶに期待することがあれば教えてください。ssっさ

東谷:ちゅうぶは、グループホームをつくったり、制度を作る取り組みをしたり、常に新しいことにチャレンジしてこられたので、さらに、障害者が社会参加できる暮らしを勝ち取るための新しいことに取り組んでほしい。

### インクルーシブ教育の推進は根幹

東谷:僕の今の一番の関心は、インクルーシブ教育です。当事者運動の根幹を作るのでないかと思います。

最近、自立支援協議会で嫌な思いをしました。障害児の子育てについての議論があって、共に学ぶ環境が整備されていないという話になると、支援学校の先生は「自分たちはこんなに頑張っているのに」という後ろ向きな反応しかなく、とても残念に思いました。特別な場に集められていることが問題だと話をしているのに、全然受け止めようとしない。

あるにいた20年前に高校に通う重度障害者の支援をしていたことがありますが、親は通学中にずっと保健室に待機させられ、ことあるごとに、特別支援学校に変わるとサポートがあると圧力がかけられていました。

東谷:20年経った今も、全然変わっていないと感じます。

だれもが子どもができたときは普通の子育てしかイメージしていなくて、子どもが障害児であること、社会に受け入れられないことでショックを受ける。でも、懸命に愛情を持ちながら、苦労をしながら普通の保育所や学校を自指していくわけですが、そこでずっと迷惑がられる。そのときの親の傷つきに思いを誰もはせることがないというのが一番 憤りを感ずります。

今の教育を変えないと、障害者解放はないんでないかぐらいに思っています。共に育つこと、インクルーシブ教育の推進、ちゅうぶに一番、力を注いでほしいことです。

### ワクワクする取り組みを作ってほしい

東谷:それから、たくさんのスタッフがおられるので、みんなでワクワクする取り組みを作ってほしいですね。

堀:東谷さん、お疲れのところ、長時間にわたり、お話しくださって、本当にありがとうございました。



# 学習会「尾上浩二の裏生活史～『こうちゃん』が 『尾上浩二』になるまで」レポート

総務部 池田和美

8月26日にちゅうぶ代表理事の尾上さんによる学習会が職員に向けて行われました。  
テーマは「尾上浩二の裏生活史」。これまであまり聞く機会のなかった青春時代に焦点を当て、当時の尾上少年は何を考えた、どんなことに悩んでいたのかを聞かせていただく企画です。学習会のお供は当時を支えてくれた音楽の数々。さてさて、どんな時間となったのでしょうか。いつもとちがう学習会のはじまりはじまり～！

やるっきゃねえ……

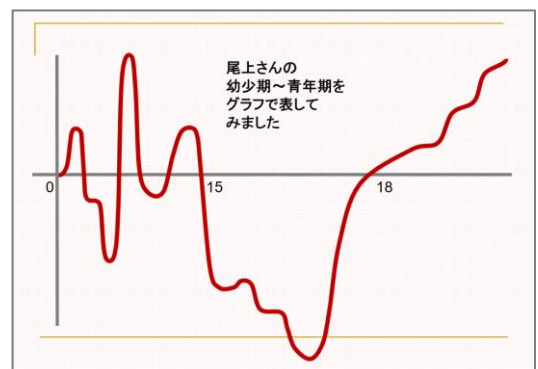
8月26日の朝、そう心の中でブツブツ言いながらガタガタ震えていました。その日はマコーレー・カルキン44回目の誕生日であり、月に一度の職員会議の日です。ちゅうぶでは毎月一回、会議に続いて職員のための学習会が行われます。そこで年に一度行われるのが、我々が代表理事、尾上さんの講義です。過去のテーマを聞くと運動の歴史や障害者に関する法律や制度の変遷など、「真面目な学習会」をされるが多かったよう。そんな前例をぶち壊……そうとしているわけではありませんが、何も知らない新人が尾上さんに「こんなことを聞かせてほしい！」と無茶なおねだりを遂行。その結果、今までとはちょっと毛色の違う時間が爆誕しました。

聞かせて、黒歴史

リクエストしたのは「尾上浩二の裏生活史」。運動の成果や輝かしい実績といった「成し遂げた話」ではない、まだ何者でもなかった頃の尾上さんの黒歴史や失敗談にフォーカスした話を、当時聴いていた音楽とともに聞かせていただきたいと思います。学習会は「こうちゃん」と呼ばれていた幼少期から大学頃までの好不調をグラフに表し、それに沿って尾上さんと司会の私が会話形式で進めるスタイルをとりました。

両手両足にスリッパを装着し足で蹴るようにしながら空き地へ行き、近所の友達と「こうちゃんルール」を作って草野球を楽しんだ幼少期。遠くの養護学校にバスで通うことになり、その結果近所の友達と疎遠になってしまった小学校時代。ベッドに縛り付けられながら聴いたラジオの深夜放送で、ロックに出会った施設での生活。地域の学校に入学し友達の家で夜通しレコードを聴いた中学時代。それらのエピソードをより具体的に伝えてくれたのは、すべて松田さんによるイラストです。かわいいこうちゃんをたくさん描いてくれました。

とくに印象的だったのが高校時代のお話です。色濃くなっていく将来への不安、それによって生まれた大人への不信任感、自分の障害が話題にのぼることを恐れ、自ら距離を取った初恋の人……。そんなモヤモヤを抱えながら、たまたま進学した大阪市立大学(現・大阪公立大学)で尾上さんは障害者運動と出会い、人生が大きく好転していきます。



↑よくよく見ると目盛りがヤバいグラフ



大学に入学し、青い芝の会、そして障害者運動の恩師とも呼べる先輩たちに出会った尾上さん。そのなかにはちゅうぶ開設時の実行委員長である坂本博章さんや、ちゅうぶ前代表理事、楠 敏雄さんもいました。

## ひか 控えめに言ってクレイジー

今や障害者運動の中心と言っても過言ではない尾上さんですが、運動に関わったのは坂本さんに「これから座り込みに行くぞ！」と言われたことが始まりだったそうです。急遽参加することになったその座り込みは「大阪市教育委員会へ『話し合いの場を設けろ！』と訴えるため、アボなしで委員会に突入」という、今考えたと控えめに言ってもクレイジーな計画でした。言われるがままに参加しながら、ふと尾上さんは坂本さんに尋ねます。「これって何時に終わりますか？」。すると「馬鹿野郎！終わるまでだ！」と怒られ、(え、これから高校時代の友達と約束があるんだけど……)と内心想っていたんだとか。当時は携帯電話もなかったので当然連絡もできず、座り込みが終了したのは約束の時間から2時間も過ぎた午後8時だったそうです。

そんな一見むちゃくちゃな運動をしていた青い芝の会ですが、それから10年後には大阪市福祉課とともに「大阪市ケア付き住宅研究会」を発足させます。それは青い芝の会が自分たちの訴えを一方的にぶつけてきたのではなく、行政と信頼関係を築いてきたことの証なんだと思いました。え、それって簡単なことじゃくない？ なんとなくすごい人っぽい、雲の上の存在って思ってたけど、やっぱり青い芝の会の人たちってすごいんだなあと感じるエピソードでした。

「障害者運動の大きな塊を作ること。理念の統一も大事だけど、すべての人が同じ考えでまとまることを目指すよりも、違いがあっても運動を一緒にやっいていこうとすることが大事」。これは尾上さんが楠さんから学んだことのひとつだそうです。気の合う仲間だけで小さく結束していても社会は変えられない、多様な個性を受け入れ共存している集合体は、混沌としている一方で強さや豊かさを持ち合わせているのかもしれない。

それは今のちゅうぶにも言えることではないでしょうか。脳性まひ、筋ジス、知的、精神、健常と言われるけど私みたいなクセ強もいるし、グループホーム、相談支援、介護派遣、日中活動、管理部門といった部門の違いもある。運動が好きな人興味がない人、イベントが好きな人嫌いな人、制度に詳しい人、漢字の羅列を見ると眠くなる人……。障害種別や役割、大事にしているものや性格ってそれぞれ違って、ときにぶつかることもある。でも多様であることが強さを意味しているならば、私たちは実はけっこう、すでに強いのかもしれません。

## あのときのアレがあるからオレがいる、ってことなのかな

「毎日ちゅうぶにいと、いろんなことがあります。よかれと思って行動したら裏目に出たり、一瞬の気の緩みで事故を起こしたり、感情にハンドルを握られて判断を誤ったり。そういったトライアンドエラーを繰り返しながらもちゅうぶで障害者運動を続けていくためには、自らの『やらかし』をどう学びに変えていか、自分自身の行為とその結果について向き合うことが大事なのではと考えています」。……今回の学習会にあたって尾上さんに提出した企画書に、私はこのように記しています。学習会を通してこれまで聞くことのなかった「裏生活史」を知り、尾上さんにも葛藤や苦い出来事があるからこそ今があるんだと知りました。また誤解を恐れずに言うならば、今運動の中心にいる尾上さんだって決して順風満帆でもなければ聖人君子でもない。であるのなら、声を挙げるのが許されるのは完璧な人間だけではない、そんなことも今回あらためて痛感しました。

尾上さん、そして職員会議でお付き合いくださった職員のみなさん、ありがとうございました。イラストを描いてくれたまつ田さんをはじめ、企画をブラッシュアップさせるにあたり、ときに熱く、ときに厳しいアドバイスをくださった方々にも感謝です。なかには「負けねえ！」と火をつけてくれるような意見もあったから、今回の学習会がここまでたどり着けたんだと思っています。そして「やってみたら？」と言ってくくださった石田さんの言葉が、背中を押してくれたのも間違いありません。信じてくれるって嬉しいですね。これからはがんばろうと！



しょうだいれん じぎょうしょ  
**障大連・事業所ネットワーク**  
しんじん ちゅうけん けんしゅうかいほうこく  
**新人・中堅〈ミックス〉研修会報告！**

ぶんせき もりぞの  
(文責 森園)

8月19日に障大連の事業所ネットワーク、ミックス研修会に講師として参加させていただきました。この研修会はヘルパー派遣を行っている事業所が集まって行われた研修会でした。参加者は50人ほどで、ちゅうぶからも参加がありました。

● **内容**

しょうだいれん しょうかい  
**障大連の紹介**

さんかしやどうし なかをふかめるためのクイズ大会  
でリラックスできました。

とうじしゃ こうえん  
**当事者の講演**

- ・ちゅうぶからもりぞの「障害の理解と森園の生活の話」と題して、ヘルパーと共に暮らす自立生活について語りました。
- ・自立生活夢宙センターから内田さんが「つなぐ」というテーマで自分の自立生活やヘルパーとの関係についてお話されました。

**グループワーク**

お互いを知り合うためのワークがありました。  
当事者の講演の感想も出し合いました。

いらくや こうりゅうかい  
**居楽屋ごりらでの交流会**

めっちゃ盛り上がりました。

もりぞのかんそう  
**森園感想**

こんかい けんしゅう こうし さんか  
今回の研修に講師として参加させていただきました。

皆さん熱心に聞いてくれていて、講師をさせていただいて良かったと思いました。「ヘルパーと1.5人暮らしだと思っている」と書いたところが響いたと言ってもらえて、細かいところまで見ていただいていると感じ嬉しく思いました。夢宙センターのトミーさん(内田さん)のお話では、ヘルパーさんとの関係づくりで安心できる場所作りって言葉が印象に残っています。ヘルパーに指示が伝わりにくい時や、コミュニケーションが難しい時などは、今日はこれぐらいやってもらえればいいや、はなまるにしようみたいな、その日に合わせて生活しやすいように工夫されているという話がありましたが、森園自身もヘルパーとの関係で悩むことが多いので参考になりました。改めて、今やっている自立生活は、悩みながらも、このままでいいっていうことが再確認できたので、非常に良い機会になりました。



## 藤井さん感想

今回初めて新人・中堅研修会に参加させて頂きました。当事者の方2名に講演していただき、その話を聞いた上でグループワークをするといった流れでした。

新人・中堅研修会と聞いていましたが、グループワークの班になると私以外は十年選手の方々ばかりでドキドキ。意見を聞く中でやはり法人が違えば色々な考え方があり、とても勉強になりました。話の流れで経験談を聞くこともしばしば…私がそんな中でも注目したのは皆さん共通して当事者の些細な一言や見逃してしまいそうな想いを汲み取る力を持ってらっしゃるという所でした。そういった当事者のサインに気づけるかどうか支援者として重要なのだと感じました。貴重な機会をいただきありがとうございました！

## 秋山さん感想

今回は懇親会あるということで、それにつられて参加しました。

他の団体のスタッフの人と交流できる貴重な機会、森園さんなどの発表あとでグループワークがあり利用者との関わり方とかで悩んだり考えたりしているのはみんな同じなんだと思いました。あと、みんな発表とかでトークが上手くてびっくりしました。

## 中彌さん感想

今回森園さんの相手としてミックス研修会に参加してもらいこれまで他団体との交流をほとんどせず仕事をしてきていたのでいい刺激をもらいました。他の団体がどういう考え方で仕事をしているのか？苦労や楽しさを共有できたのが普段ちゅうぶの中でだけでは味わえないものでした。

それと今回森園さんと一緒に前に出させて頂き森園さんの生活史と一緒に発表しながら見させてもらい改めて森園さんとはどういう人が深く知ることができました。7月から森園さんの担当にならせてもらったのでこれを踏まえてより一層関わっていこうと思いました。

## ●居楽屋ごりらでの交流会

みんなでおいしい料理を食べながら、他団体の方と名刺交換や歓談、それぞれの団体から参加された方たちの一言スピーチなど、ワイワイ楽しい会でした。森園は事前打ち合わせの時に障大連の中村さんから名刺があれば名刺を持って来て下さい、と言われたのに正式な名刺を持っておらず、急遽自作の名刺を作り、参戦(笑)それを配ってまわりました。名刺を配ろうという第一目的のおかげで、たくさんの団体の人たちと交流することができて大満足でした。研修会の会場となった夢宙センターのみなさん、居楽屋ごりらの料理を作ってくれた担当の方、そして、僕と一緒に講師を務めてくれたトミーさん(内田さん)、なにより研修会に参加していただいたすべての皆さんありがとうございました。



ごりらでのベストショット！





# 新しいメンバー紹介！！赤おに 鈴木九壘くん！！

インタビュー 今村・青木・特別ゲスト 溝上さん

Q まずは簡単に自己紹介おねがいします。

鈴木: 鈴木九壘(かずまさ)です。2006年2月16日生まれです。

ここにきたきっかけは、実習来て楽しかったからです。

色んなとこに外出したいと思って通所しようと思いました。

趣味はゲームと絵を描くことです。よろしくお願いします。



Q どんなゲームするの？

青木: 俺は仁主ってゲームが好き。鈴木くんは？

鈴木: フォートナイトが好きです。オンライン対戦のゲームで世界中の人と戦ってます。

今村: いつからやってるの？

鈴木: 中一からやってます。たまに飽きてまたやってみたいな感じです。

青木: ゲーム中も無口なん？

鈴木: めっちゃうるさいと思います。キレながらやってます。

今村・青木: やっぱりな(笑)無口な鈴木君やとしても、ゲーム中は絶対に真の自分が出てはるはず。

ほんまは大きい声でるんやろな。(笑)※鈴木君はとてもシャイで普段声が小さいです。

Q やってみたい事は？

今村: ちなみに僕はいっぱい旅行に行きたい。前に福岡に行ったのが楽しくてその感じをまた味わいたいです。

今は東北地方に行ってみよう。

青木: 僕はライブにいっぱい行きたい。前に今村君と行った大学生主催のライブがめっちゃ楽しかった。オレンジレンジのライブにも行ったけど僕は大学生のライブの方が良かったなあ(笑)

鈴木: 僕もライブに行ってみよう。米津とか藤井風とか。でもやっぱり一人暮らしをしたい。

今村: 今はホームヘルパー使って外出したりしてる？

鈴木: 今はしてません。友だちと出かけることが多いです。

小学校の同級生で僕と違う支援学校に行っていた友だちと10年くらい付き合いがあります。その友だちは、僕のトイレの移乗もやってくれます。

青木: 僕にもそういう友だちおったけど、急に移乗してくれなくなった。

溝上さん登場: 私も参加する！私はお出かけしたい。昔みたいにカラオケしたい♪

Q 行ってみたいところは？

溝上: カフェに食べに行きたい。カフェクラブで活動していた時みたいにカフェに行きたい！

海遊館の近くのカフェに行きたい！

青木: 僕はハワイに行きたい。アロハシャツ着て。

今村: アメリカのロサンゼルスに行ってみよう。本場の野球メジャーリーグを見たい。安井君と行った福岡旅行楽しかった！

鈴木:北海道行きたいです。海鮮丼を食べたい。ホタテを腹いっぱい食べたい。そもそも旅行に行ったことないから行ってみたい。

溝上:北海道は寒いでー！！雪降ってるでー！！

沖縄は暑いから行きたくないー！！！！

私は佐賀県鳥栖で生まれたから、鳥栖に行きたい！ここには昔引っ越してきた。

青木:僕は今度、東京に行く予定です。

溝上:人が多いー！！どこに何があるかわかるかー？？？

福岡はどんなんやったんやー？

今村:ラーメンとか美味しいです。

溝上:私は佐賀で豚骨ラーメン食べるー！！

Q暑いのと寒いのはどちらが好き？

溝上:暑いのも嫌い！寒いのも嫌い！春が良いなあ☺ピヨピヨ。

今村:僕は寒いと動きにくいから暑い方が良い。

青木:僕もどっちも嫌い。

溝上:今村は猫。青木は犬。鈴木も犬。ゆーきやこんこん♪あられやこんこん♪

鈴木:寒い方が良い。操縦しにくくなるけど寒い方が良い。暑いとゴキブリがでるから。

自分でも潔癖症かなと思います。虫いなくなっほしい。

Q100万円あったらどうする？

青木:とにかく旅行に行きまくる。行ったことないところに、行きまくりたい。

今村:高級なご飯を食べる。普段食べられないようなごはん。

鈴木:プロゲーマーが使ってるゲーミングPCが欲しい。安くても20万くらい。

溝上:家を建てる！！今がマンションだから！！

と個性豊かな答えがいっぱいでした。溝上さんが参加してくれてから、なんか空気が明るくなって助かりました。

これからたくさん色んなことを一緒にやっていきましょう！僕たちも負けない様に頑張っていきたいです！！

(今村・青木)





## きどみちお へ や きどみちお たび 木戸通雄の部屋「木戸通雄のぶらり旅

### しんせかい にしなり しょうてんがい くるま がいしゅつ ～新世界 西成の商店街を車いすで外出～

がつ お ちか がつ にち げつ ひ きどみちお たんとう と い しよくいん ワイで  
6月も終わりに近づき 6月24日(月)この日、木戸通雄の担当はすてっぴの飛び入り職員、Y出  
さん。一緒に新世界に行き、ビリケン神社に願いを捧ぐ。良い人と4年後縁談があり結婚できます  
ように。ここはOSAKA新世界だぜえ～！！

### きど やきゅうよそう 木戸のプロ野球予想

ひろしまとうよう ふくおか  
広島東洋カープファンも福岡ソフトバンクホークスフ  
アンも、いらっしゃ～い！！予想は早いが今年の日本シリ  
ーズは今現在首位を走る福岡ソフトバンクホークスと、  
ひろしまとうよう げきとつ はや よそう  
広島東洋カープの激突になるだろう。まだ早い、予想。

わたし はんしん ぼうし  
いつも 私は阪神の帽子をかぶっていて、タイガースフ  
アンごめんね。さあ前祝い。広島東洋カープ優勝日本一ば  
んざーい！！

あくまで新世界木戸通雄の夢で咲いた花でした・・・。

しんじょうかんたく ほっかいどうにっぽん お あ  
でも、新庄監督、北海道日本ハムファイターズが追い上  
げてきてるなあ。今年は辰年なのに、そうかやっぱり悩む  
ことないなあ、中日ドラゴンズ。名古屋ドームでVなる  
か？

よそう あ たつなみかんたく なかだしょうせんしゅ あいち なごや しちゅうにち かた  
あくまで予想。もう当てものはよそう。立浪監督と中田翔選手と愛知名古屋市中日ファンの方、  
どうもすみません。

### げいにん きんぞく そうぐう 芸人「金属バット」に遭遇！

にしなり しょうてんがい とお ぬ よしもと げいにん わら まんざい きんぞく で あ  
西成の商店街を通り抜けると、吉本の芸人、お笑い漫才コンビの金属バットに出会った。

きんぞく こえ  
金属バットさーん！と声をかけ、木戸は両手を振った。金属バットが、きど おな はんしん ぼうし  
をかぶっていたから、気が合うと考え、調子に乗った木戸が突然テレビロケにカメラの後ろから出  
ようとして、テレビロケの女性スタッフからストップサインが出た。

おうだんぼ どう わた げんば はな つ そ ワイで やくぞく きせい はっ  
いったん、横断歩道を渡り、ロケ現場を離れ、付き添いのY出さんに約束をアピール、「奇声を発  
しません！ロケには絶対乱入しません。」

さんねん らんにゅう きんぞく もくてき にしなり しだまち  
残念ながらロケには乱入できませんでしたが、金属バットの目的は西成の下町おじさんへのイ  
ンタビューでした。ツッコんでボケを返してもらっていたようです。

あと かえ まぎわ かんが しゅうかく かた きど あたま なか  
後から帰り間際に考えたことですが、シャッターチャンスの収穫のやり方を木戸の頭の中の  
方程式で計算し、金属バットが歩いてきたところで木戸がUターン、後ろから近づき、金属バット  
とスリーショットになった瞬間に、付き添いのY出さんのスマホで、シャッターチャンス！突然



ガバチョ！といきたかったです。

残念無念。やってやれないことはない。やれずにできることはない。木戸の今年新年の作業所の寄せ書きには、筆で一文字『芸』だった。

もしかして、もしかして芸人木戸になっていたかも・・・



今思えば、70歳で亡くなった母と、二人きりの兄弟の姉との思い出。

なんばグランド花月になるもっと前の旧なんば花月劇場に、木戸が高校3年生18歳の時、間寛平さんに頭を下げ、母親が言った。「この子吉本に入れてやってよ」。

しかし言葉は冷たく寛平兄さんは「顔が綺麗やから俳優になったほうがええ」と帰された。

芸人の夢をいったん諦めたものの、19歳の頃、芸人になる転機が訪れた。

ジャスコ東住吉店だった。松竹座の青芝フックキック司会の民放ラジオ番組の公開録音イベントで、たしか松田聖子の青い珊瑚礁を私は唄った。

青芝フックさんとツーショット写真を撮ってもらい、「フックさん弟子入りさせてください」と一か八

か当たってみた。

結果、幸せも束の間、まだ若すぎると帰された。

木戸にまた冬の季節が訪れた。

24歳の頃、また幸運にもダイエー長吉店ができ、開店当日、MBSヤングタウンラジオ公開番組が来ていた。

森田公一とトップギャランの『青春時代』をリクエスト。

その時の司会は、元テレビヤングオーオーの司会の河村道夫さん。河村さんが「さあ木戸さん歌ってください」と言ったので、調子に乗って歌ってトークしまくった。

木戸は、ヤンタンの、確か土曜日に、自分の冠番組を持ちたいと言った。土曜は、当時、笑福亭鶴瓶さんの冠番組の日でした。

当時、毎日放送のプロデューサーはカットせずそのまま木戸の発言を放送した。

以上（文責：木戸）



# 240908 まの うめだがいしゅつへん 真野スタ★梅田外出編★！

皆さんこんにちは！猛暑に地震に台風、世の中変な調子が続きますが、マノスタは変わらず元気に外出に突き進んでおります！(>\_<)！今回は赤おにでも外出熱が上昇中の「うめきた」へ行ってきました。すると行きのメトロ車内で、偶然泊り明けの淡中さんと遭遇！初っ端から1回目のピークが来ました(笑)。



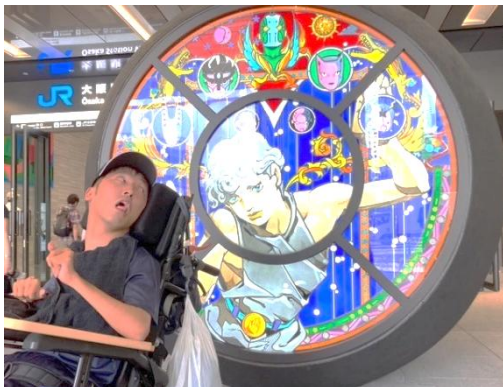
梅田西口を降りてイノゲート大阪を抜け(←)、KITTE大阪の地下1階の飲食フロアの吹き抜けスペースでは高知の太鼓演奏を聴いたり、2階では各地の物産店も出店、広島のお店では厳島神社の鳥居で一枚記念撮影(→)(^^)/



昼食は色々見て回り、地下1階のデリカキッチンにて「↑おろし茄子竜田としそわかめご飯のお弁当」を購入。吹き抜けスペースの柱影にて完食。おいしかった(^^)



グラングリーンの梅北公園を軽く散策(←プラットうめきたのドーム内から)(スカイビルを背景に→)、イノゲート大阪のバルチカ03では各階とも車イストイレはあったものの、車イスユーザーの利便性は低かった印象(>\_<)。



帰る前にエキマルシェ内のビオラルにてコーヒーとフィナンシェを購入、イートインで飲食。JR西口で漫画家の荒木飛呂彦さん作品の monumentoに見送られて、帰りました。

うめきた、いい感じで整備してるのに、今回は大人サイズの車イスベッドに出会えず、大きいベッドの必要性を痛感しました。またバリアフリー調査にも行きたいです！(^^)/

きょうりよく か い ひ

きょうりよくしや め い ぼ

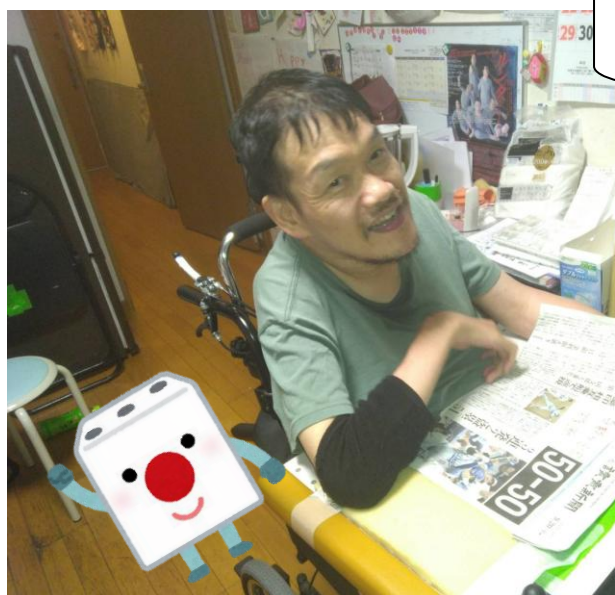
## 協力会費・カンパ協力者名簿

たるみ じゅんこ さん 樽見 淳子 さん	じょうとうく (城東区)	なかがわ あきら さん 中川 彰 さん	ほびきのし (羽曳野市)
-------------------------	-----------------	------------------------	-----------------

がっつ にちげんざい  
9月30日現在

きょうりよく  
ご協力ありがとうございました (担当: 安東)

### 「フィフティーフィフティー」



サイコロをふって奇数が出る確率は…、



ねん がっつ にち さつえい  
※24年9月21日に撮影しています



### 「スポーツの日」

あか  
赤おにくん：

「日本で一番人気のプロスポーツはやっぱり野球かな、  
なんといってもお大谷だね、彼は人間じゃないって噂だよ。  
あのパワー、やはり、ボクたちの仲間じゃないかな」

あお  
青おにくん：

「でも、ボクらのスポーツといえばオニゴッコだね、  
コロナで中断していたなんばオニゴッコが今年から復活したんだよ。スポーツというか、なんばの街のバリアフリー化を  
目指す【運動】でもあるんだよね」



2024年10月～12月 スケジュール		
10月26日	土	矢田ふれあい祭り 11時～15時 @地域活動支援センターもくれん
10月31日	木	東住吉区みんなの災害福祉講演会 14時半～16時半 @東住吉区民ホール
11月2日	土	福島県・NPO法人あいえる30周年企画「講師：尾上浩二ほか」
11月8日	金	障大連大阪市ブロック「大阪市交渉に向けた学習会」13時半～17時（予定）@都島区民センター
11月23日	土	童夢KANSAIフェスティバル（旧 ポジティブ生活文化交 流 祭）11時～16時 @長居公園自由広場
12月3日	火	障大連・大阪市オールラウンド交渉 10時～16時45分（予定）@天王寺区民センター
12月4日	水	障大連・大阪市オールラウンド交渉 13時～16時45分（予定）@天王寺区民センター

●大阪 城 天守閣への階段。エレベーター工事の間、車いすを担ぎます！ ん？時代錯誤？危なくないのか？天守閣に上がるための閣外にあるエレベーターは1997年製。30年経過すると必ず更新工事が必要となり、その間使えなくなります。今回、当初は工事期間中、車いす利用者などには天守閣は断念してもらうことになっていましたが、障害者差別解消法での合理的配慮の観点からも何か代替策はないのか模索されました。階段昇降機などいろいろ試しましたがうまくいかない。そこで今回の「4人で担ぐ」となりました。お金は大阪市が出し、スタッフ募集と研修はちゅうぶが担当。30年前まで、駅にエレベーターがない時代には駅員も介護者も毎日やっていたこと。今でも災害時には必要な手段として駅員研修をやっています。なんとか無事にやりきりたい！（いしだ）

●先日、大阪市中南部高次脳機能障害 包括ネットワーク（以下、大高ネ）の学習会が大盛況のうちに終わった。この間、資源マップやTシャツを作ったり、イベントを開催したりと地道に活動が続けてきて、今回の学習会を経てこのネットワークがだんだんと知名度も上がり、形になってきたことを感じている。高次脳機能障害は事故や病気で脳がダメージを受けることで、日常生活に様々な支障をきたす障害だ。記憶障害、失語、失行、失認などその症状は損傷部位で異なったりするので一様に語れない。また、性格自体が変わってしまうことによる家族の疲弊など、関わる支援者は非常に細やかな対応が求められる。大高ネは当事者やその家族、支援者が一人で抱え込まず、様々な社会資源と繋がっていきけるように、また顔が見える関係性を作れるようにすることを目的として作られた。大高ネの構成メンバーも医療機関、基幹センター、就労移行、B型など、各分野の一線活躍されている非常に頼もしく熱い方々が多い。メンバーである自分自身がどのようにどこまでこのネットワークに貢献できるのかまだ見えていないことも多いが、少なくとも今回の東住吉区での学習会を通して、小さくとも一歩踏み込むことはできたのではないかと感じている。高次脳機能障害を単に難しい、よくわからない障害とせず、その特性や当事者の想いを知り、積極的に関わってくれる人が増えてくれれば本当に嬉しい。（こばえ）

●堀さんから今回の編集後記依頼があり、前回はいつ頃だったかなと振り返ると2022年。初めての編集後記から2年が経ちました。というわけで、ちゅうぶに転職した2021年8月から今年で4年目を迎えます。まだ続いていますね。続いているということはやりがいを感じる事ができているということ。いろんな意味でしんどすぎることもあるけど、とりあえずやりがいを感じている。イコール『めっちゃいいかんじ』ですね。これからも自分らしくいることを忘れず、常に新しいことに興味を持ち、出来る限り自分のやりたいことをひたすらやる人生にする気持ちを大切にしながら毎日を楽しまします。全然自分の事ですが、昨年こどもが産まれました。今年で1歳になります。女の子です。僕には年子の妹がいるのですが、先日入籍し、めでたく結婚式を挙げました。式中、父親の泣く姿を見て、自分も同じような日が来るのかと、かなり先走った寂しさで心がいっぱいになりました。（こばやし）


【東住吉区障がい者基幹相談支援センター】

【自立生活センター・ナビ】

〒546-0042 東住吉区 西今川 2-3-8

でんわ = 06 (6760) 2671

ファックス = 06 (6760) 2672



【グループホーム・リオ】

〒546-0032 東住吉区 東田辺

2-21-21

でんわ&ファックス = 06 (6608) 5244

【ヘルプセンター・すてっぷ】

NPO法人ちゅうぶ 2階

でんわ = 06 (4703) 3741

ファックス = 06 (6628) 0271

【障害者活動センター 赤おに】

〒546-0031 東住吉区 田辺 5-6-10

でんわ = 06 (6623) 7300

ファックス = 06 (6657) 5010


【障害者活動センター 青おに】

NPO法人ちゅうぶ 1階

でんわ = 06 (4703) 3742

ファックス = 06 (4703) 3743

編集：特定非営利活動法人  
エヌピーオーほうじん  
【NPO法人 ちゅうぶ】



〒546-0031  
おおさかしひがしあみよしたなべ  
大阪市東住吉区田辺5-5-20  
でんわ=06 (4703) 3740  
FAX=06 (6628) 0271

ホームページ=https://npochubu.com/  
メールアドレス=chubu@npochubu.com  
ゆうびんらにのみこうざ  
郵便振込口座：00960-6-313427  
つうしん 定期購読料 = 1年間2,000円